



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えます。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 東京2020五輪モンゴルボクシング選手団 事前合宿決定!

モンゴル国ボクシング選手団の東京2020オリンピック事前合宿地に島田市が決まり、3月8日にモンゴル国と覚書を締結しました。同国は、昨夏のリオデジャネイロオリンピック・ボクシング競技でライト級の選手が銅メダルを獲得するなど、ボクシングの強豪国として知られています。今月はこれまでの経緯と、事前合宿誘致を地域活性化に生かすという視点でお話します。

島田市は、平成23年からモンゴル国ウランバートル市ナラン外国語学校と市内の小中学校との交流を行っており、毎年10月から11月にかけて、同外国語学校の生徒と引率教師の皆さんを受け入れる交流を続けてきました。この交流を支えてくださっているのが「島田市国際交流協会モンゴル友好委員会」です。今回の合宿誘致についても、友好委員会の皆さんに大変ご尽力をいただきました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。



ナラン外国語学校の皆さん

こうした交流の素地があることと、静岡県とモンゴル国とが強い友好関係にあり、「モンゴルの事前合宿は静岡県内で引き受けたい」という知事の意向もあって、県の後押しをいただき、2月16日にモンゴルの教育・文化・科学・スポーツ大臣ら一行が、事前合宿の拠点となる市

総合スポーツセンター「ローズアリーナ」を視察されました。視察後、市役所での会談において「ぜひ事前合宿地に島田市を選んでいただきたい」という私からの要請に、大臣は「すでに島田を選んだ。素晴らしい施設で今日にも覚書を締結できるほどだ」と即答いただき、今回の覚書調印につながった次第です。今後は、モンゴル国ボクシング選手団がオリンピックで輝かしい結果を残すことができるように、全力で支援してまいります。

今回の覚書の締結を受けて、国に「ホストタウン」の申請をします。ホストタウンに登録されることにより、施設改修、多言語化対応、ユニバーサルデザイン化、交流事業などに国から有利な財政措置を受けられるようになります。この財源を活用して、「ローズアリーナ」メインアリーナの空調設備を整備するとともに、ユニバーサルデザイン化や多言語化対応なども推進してまいります。また、合宿誘致を機に、外国語に親しむ市民が増え、交流することで共生を学び、国内外からの合宿のまちづくりにつなげていきたいと考えています。



大臣ら一行がローズアリーナを視察

結びになりましたが、市では、もう一つの合宿誘致、シンガポールの卓球選手団事前合宿誘致も、全力を挙げて取り組んでまいります。

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

島田商業高校情報ビジネス科では、2月3日にプラザおおりにおいて「地域とオープンデータ」というテーマで発表会を行いました。オープンデータとは、インターネットを通じて誰でも自由に入手・利用・配布できるようにしたデータのことです。今回は、生徒がオープンデータを使い、自身で地域貢献につながるアプリを作成し、プレゼンテーションを行いました。

オープンデータを取り入れた授業を実践しているのは、

全国的にも当校だけだと思います。今後も、地域の課題改善の一助となるような取り組みを行いたいと考えています。当校のホームページで、ぜひ生徒の取り組みをご覧ください。(鈴木滋さん：島田商業高校教諭)

